

平成30年度入学（帰国子女）試験問題の出典

社会福祉学部

種別	大問番号	著者名	著作物名	書名等	版元
小論文	一	穂村 弘	ひもとく 番外編 読書は必要？あなたの『世界』を変えるかも	朝日新聞 2017年4月16日 付朝刊	朝日新聞

※承諾番号「18-2983」

※試験問題について、朝日新聞社および朝日新聞出版に無断で転載することを禁じる

社会福祉学部

小 論 文 (90分)

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この冊子は、2ページあります。なお、下書き用紙が2枚あります。
- 3 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合は、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、必ず黒鉛筆（シャープペンシルも可）で記入し、ボールペンや万年筆などを使用してはいけません。
- 5 解答用紙には、氏名及び受験票と同じ受験番号を忘れずに記入しなさい。
- 6 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 7 下書きの必要があれば、下書き用紙を利用してかまいません。
- 8 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。(配点 100 点)

知り合いの青年に「本は読まないの?」と尋ねたら「ほむらはダンスしないんですか?」と聞き返されたことがあります。読書は人生の必修科目でダンスは選択科目、というのはもう古い感覚らしい。

すべてが自由意思による選択科目という世界では、読書だけが特別ということもなくなるんだろう。そう思いながらも、「読書は楽器やスポーツと同じように趣味の範囲であり、読んでも読まなくても構わないのではないかと改めて問われると、「賛成です」と答えることに不安と躊躇いを覚えます。それはどうしてなのか、考えてみました。1 つ思い当たったのは、読書という行為は言葉と密接に関わっている、ということです。

読書が「楽器やスポーツと同じように趣味の範囲」というのは、或いはその通りなのかもしれません。「楽器」がなくても「スポーツ」がなくても、そして読書がなくても、生きてゆくことはできる。その意味では確かにいずれも「趣味の範囲」と云えそうです。

でも、言葉そのものはどうなんだろう。それも「趣味の範囲」なのか。いや、他者とのコミュニケーションに必要というだけではなくて、誰にも会わず一言も話さない日でも、私たちは心の中で無意識に言葉を使っています。それなくして生きることはできない、と思えるほどに。

映画などで、親から出生の秘密（「実はお前は私がお腹を痛めた子じゃないの」とか「お前たちは本当は血を分けた兄妹なんだ」とか）を告げられた主人公がショックを受ける、というシーンを見ることがあります。

それまで信じていた世界が親の言葉によって覆ったのです。いや、正確にいうと覆ったのは世界ではない。何故なら、親が子供に出生の事実を語る前と後で血の繋がりがやDNAが変化したわけではなから。その意味では、物理次元の世界は何一つ変わってはいない。つまり、親の言葉で覆ったのは世界そのものではなく、主人公の心の中の世界像ということになります。

ならば、私たちが1つの共通の世界に生きているというのは実は錯覚で、本当は一人一人の内なる世界像を生きているに過ぎないんじゃないか。そして、どうやら言葉はそのことに深く関わっているらしい。

私がイメージしたのは蜘蛛と糸と巣の関係です。蜘蛛が自分の糸だけで編んだ巣の上で生きるように、我々も普段は意識しないけど、自らの内なる言葉（糸）が作り出した世界像（巣）の上で生きているんじゃないか。つまり、人間は言葉の介在無しに世界そのものを直に生きることはできないんじゃないか、と。

逆に云えば、言葉によって世界像は書き換えられることになる。エスカレーターに立っている時、その横をガンガンと大きな足音を立てて降りてゆく女性がいます。その度に苛々していたら、或る時、知人に「サンダルの構造上あんなっちゃう、カスタネットガールという種族なんです」と教えられました。すると、不思議なことに、彼女たちに出会っても「あ、カスタネットガール」と、むしろ面白く感じるようになりました。私が忍耐強くなったわけではなく、1つの言葉を知ったことによって世界

像が変化したのです。

この例からも分かるように、読書という行為だけが内なる言葉を養うわけではない。でも、本が言葉の、すなわち他者の世界像の塊であることもまた確かです。私が読書に特別な意味を見出したくなるのはそのためではないか、と考えました。

(『朝日新聞』2017年4月16日付朝刊, 穂村弘「ひもとく 番外編 読書は必要?あなたの『世界』を変えるかも」より, 一部改変)

問1 下線部「人間は言葉の介在無しに世界そのものを直に生きることはできない」とあるが、それはどのようなことか、150字以上200字以内で述べなさい。

問2 読書の意味について、本文で述べられていることを説明したうえで、あなたの考えを700字以上800字以内で述べなさい。